

助を行った。また、読書会の運営等に関する相談にも応えた。
平成6年度の利用状況は、登録団体10、貸出タイトル356、貸出は334冊であった。

5 普及事業

(1) 第42回福島県図書館大会

- ・期 日 平成6年10月20日～21日
- ・会 場 白河市文化センター
- ・参加者 公共図書館・公民館・社会教育関係職員、
図書館協議会・公民館運営審議会委員、図
書館利用者、各種文庫関係者、読書グル
ープの会員 250名
- ・講 演 本のねうちとは 鈴木 幸 壽
- ・事例発表 <図書館の部>
「第二の中山義秀をめさして」
大信村教育委員会 社会教育主事
高 久 照 雄
- <公民館図書室の部>
「飯館ならではの生涯学習」
飯館村公民館 館長 菅 野 典 雄
- <利用者の部>
「おはなしのくから」
こども美術クラブ主宰 加 藤 裕 美
- ・分科会<図書館の部>
司会者 塙町立図書館 館長 近 藤 ヤ エ
助言者 福島県教育庁生涯学習課 参事兼課長
藤 川 光 紀
- <公民館図書室の部>
司会者 泉崎村中央公民館 館長 大 高 盈 男
助言者 県南教育事務所 社会教育主事
遠 藤 毅
- <利用者の部>
司会者 白河市立図書館読書会 木 村 美 和
助言者 棚倉町立図書館 館長 陳 野 隆 之
- ・全体会
議 長 郡山市中央図書館 館長 二 瓶 昇

(2) 読書活動指導者養成講座

- ・テーマ 児童奉仕における図書館行事
－えほんからエプロンシアターへ－
- ・期 日 平成6年12月2日
- ・会 場 福島県立図書館
- ・参加者 公共図書館・公民館職員、社会教育関係者、
78名
- ・講 師 作新学院女子短期大学講師 中 谷 真 弓

6 広報資料の発行

(1) 館報「あづま」

第45巻第1号～第2号（通巻238～239号）を発行し、
市町村教育委員会、図書館、公民館等に配布した。

発行部数 各1,500部

(2) 平成6年度版福島県公共図書館・公民館図書室 実態調査

県内公共図書館・公民館図書室の実態を把握し、図書館
活動の振興に資するため、昭和54年度から毎年実施し、報
告書にまとめ、県内市町村教育委員会、図書館、公民館等
に配付した。

発行部数 360部

平成6年度4月1日現在の調査結果の主要な点をあげる
と、市町村図書館と公民館図書室を合わせた蔵書冊数は、
3,371,756冊で、県民1人当たり1.59冊（前年度1.50
冊）、年間増加蔵書冊数は、279,185冊である。

また、平成5年度中の貸出図書冊数は、4,616,860冊
（県民1人当たり2.18冊）であり、前年度と比べると総冊
では453,154冊増である。

(3) 福島県郷土資料情報

新着郷土資料の情報誌として、第25～27号を発行し県
内の図書館、公民館等に配付した。

発行部数 各300部

第5節 図書館協力

1 相互協力

県内公共図書館の資料・調査・協力のためのセンターとし
て、また多様化・高度化する利用者要求に応えるため、県内
外の各種機関との連携・協力関係の促進を図った。特にその
中核となる資料の相互貸借には意を注ぎ、条件整備と協力関
係の緊密化に努めた。

前年度比較は、県内他機関が件数で11.6%、冊数で9.8%
また県外との関係ではそれぞれ51.2%増と28.1%増であった。

〔表10〕相互貸借件数

区 分		県 内	県 外	計
貸 出	件数	867	63	930
	冊数	2,006	113	2,119
借 用	件数	17	64	81
	冊数	27	92	119
計	件数	884	127	1,011
	冊数	2,033	205	2,238

2 県立図書館職員研修会

図書館職員の資質向上と専門的知識の涵養を図るため、毎
年行っている。

- ・テーマ 図書館とコンピュータ
- ・期 日 平成6年12月22日
- ・会 場 福島県立図書館
- ・参加者 図書館・公民館・関係機関職員 62名
- ・講 師 浦安市立中央図書館 副館長 常世田 良